



決勝レポート

2021/4/25 Rd-2 鈴鹿サーキット

天候：晴 気温：23℃ 出走台数：19台

観客数：24日(土)7,000人 25日(日)9,500人 合計16,500人

2021 シーズン第2戦を快晴で迎えた鈴鹿サーキットは、メインストレートに強い追い風が吹く状況でスタートを迎えた。

ポールポジションの福住選手は、冷静なスタートでトップを守る。3列目5番グリッドスタートの笹原選手は、エンジンストールで失速した前列の車両を避けるために大きくラインを変えざるを得なかったが、4番手でオープニングラップを周回。

首位を走る福住選手は、唯一1分40秒台のラップタイムで2位以下とのギャップを広げ、レースをコントロールする。笹原選手も先頭集団の中でチャンスを待つ展開。

序盤で2位以下に3秒以上のギャップを築いた福住選手、初優勝に向け着実にコマを進めていた9周目、バックストレートで突然右リアタイヤにトラブルが。何とかピットまで戻った福住選手だったが、サスペンションにもダメージを負いここでレースを終えることとなった。これで3番手となった笹原選手は、10周目にタイヤ交換を行った関口選手のアンダーカットを阻止すべく11周目にピットイン。素晴らしいピットワークでこれを阻止し3番手を守る。16周目に発生したアクシデントによりコースアウトした車両のため、セーフティーカーが導入される。20周目にレースはリスタート、残り10周のスプリント状態の中、笹原選手はオーバーテイクシステムを使い、1コーナーで2番手平川選手に並びかけるも攻略には及ばず、3位でフィニッシュ。スーパーフォーミュラで自身初となる表彰台でレースを終えた。

5：福住選手 リタイア

今週末、予選もすべてトップでしたし、レースでは、スタートは緊張しましたが、序盤からギャップを作り、ライバルの動きに合わせてレースをコントロールできる余裕もありました。9周目にリアタイヤに違和感を覚えた後は一瞬の出来事で、車体にもダメージがあったのでリタイアとなったことは悔しいですが、自分自身にも車にも自信を持ってました。残りシーズンできっちりと挽回します。

6：笹原選手 3位 (HONDA勢2位)

スタートでは目の前でストール車両がありましたがポジションを落とすことなくまとめることは出来ました。その後プッシュしてポジションを上げようとしたのですが、思うようにペースを上げられず、ついていくのが精一杯でした。戦略とピット作業に助けられて、後半は2位を目指しましたが届きませんでした。チームの献身的なサポートで、最後まで悔いなく走りきり、初となる3位表彰台でポイントも持ち帰ることが出来た事に感謝の気持ちでいっぱいです。